

令和6年度 第3回
栃木西部地域会議 会議録

令和6年6月18日(火)
栃木市寺尾公民館 大交流室

栃木西部地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第3回栃木西部地域会議
開催日時	令和6年6月18日（火）19時00分 開会 20時20分 閉会
開催場所	寺尾公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<u>1 開会</u> — 開会 — <u>2 あいさつ</u> 酒巻会長あいさつ
会長 事務局 会長	<u>3 議事</u> 栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により酒巻会長による議事進行。 本日の出席委員数について事務局に報告を求める 委員総数15名中出席委員数11名出席と報告 過半数以上の委員の出席であるため、会議の成立を宣言
市街地整備課	（1）旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について ・資料に基づき説明 <質問・意見>
委員A	・警察署跡地周辺には訪れる場所がないため、ほとんど行かない。
委員B	・警察署跡地については長年の懸案事項であったと思う。資料にはないが、どんなものを整備するか具体的な案はないのか。
市街地整備課	・資料は、具体的な整備内容というより、土地利用の方針を示したもの。 ・市が警察署跡地を取得してから、20年近く今のままとっている。 ・平成27年度には、警察署跡地の利用について公募を行ったが、採用なしとなり、計画が立ち行かなくなった。 ・昨年、地元の方との検討会議を設け、土地利用の方針についてまとめた意見が、資料の（2）（3）となる。 ・長年砂利のままとっているのもので、多目的広場、駐車場、トイレ、休憩施設

委員C	を早期に整備し、複合施設等の整備については、時間をかけて検討を進める方針となった。
委員D	・警察署跡地付近の市の中心部は、シャッター商店街となっている。どうにかするためにも、人を呼べるものを考える必要がある。
委員E	・観光PRの拠点となるものが必要。例えば茨城県の常総の道の駅はPRによって多くの人が来ている。PRによって集客や市の活性化に繋がる。
委員C	・道の駅という話が出たが、鹿沼市のまちの駅等も多くの人を訪れている。栃木市も同じような施設があったらいいのでは。コエド市場やFMくらら、観光案内所など、今はバラバラにある施設を集約する。PR次第で集客があるのではないか。
委員E	・人が集まるようなまちづくりが必要。
市街地整備課	・駐車場があるだけでは人は来ない。
委員C	・いただいた意見を参考に、観光、賑わいの拠点として整備していく。
会長	・時間をかけて検討するとあったが、あと何年かけて整備するのかという方向性をはっきりさせて実行して欲しい。
	・意見を参考に、活かしていただきたい。
事務局	(2) 令和6年度栃木西部熟くり塾の事業内容について ・資料1に基づきテーマ検討の今後の予定を確認 ・委員の一人一人に、今年度実施したいテーマを伺う。
会長	<意見> ○交通マナーアップ ・吹上小、吹上中、吹上公民館の前を通る道路は以前から通学の時間帯の交通量が多く、児童生徒の通学路としては危険であると考え、道路の拡幅等を要望しているが、長い間解決していない問題となっている。 ・吹上中学校では、先月の学校運営協議会で通学路の変更の案を出す等、動き始めたところ。 ・交通マナーアップの講座を開き、生徒にも参加してもらうことで、学校の交通マナーアップだけでなく、以前からの地域の課題の解決にもつながると考える。 ○廃校活用 ・廃校活用については今年度も引き続き取り上げたい。 ・現在、皆川・寺尾地区では廃校活用についてのアンケートを取っているとのことなので、アンケートの結果によって、地域の皆さんの関心のある内容にしてもいいのではと考える。
委員E	○獣害に対する備えと対処法 ・報道等では熊に襲われる等の事案が発生している。栃木西部地域で熊に襲われることはないかと思うが、人命に係わるような事案が発生しないよう、専門家からより有効な対処法や身の守り方について講話をいただきたい。

委員 B	○森林（人工林）の管理方法と針広混交林のつくり方 ・令和５年度の企画案にあったが、開催できなかった。令和５年度に開催した、「流域治水と減災」の内容とも繋がってくる。 ・森林、人工林をうまく作ることで、減災につながると考える。
委員 D	○皆川広照について ・皆川地区は、皆川城址をつかったまちづくりをしている。 ・数年後に没後４００年の節目となる。
委員 F	○廃校活用 ・地域のふれあいの場として、室内スポーツ教室や介護施設として利用したり、直売所等ができたらいいいと考えている。
委員 G	○廃校活用 ・寺尾南小は廃校となり何年もたっているが、何も進んでいない。
委員 A 委員 H	○目の健康について ・幅広い年代に参加してもらえるテーマを考えて、目のことはどうかと考えた。 ・スマートフォンやタブレットの普及により、子どもの視力低下が増えている。 ・白内障や緑内障についても併せて、予防策について講話をしてもらうのはどうか。
委員 I	○地域に新たに流入してきた方（外国人含む）との交流方法について ○乗代雄介氏の講演会 ・芥川賞の候補となった「皆のあらばしり」という作品に皆川地区のことが出てくる。 ・著者から見た皆川地区の魅力等を伺いたい。 ○圃場整備について ・農業の後継者が不足している現状がある。 ・先進農業の事例等は地域の農家の方たちに興味を持ってもらえるのでは。 ○廃校活用 ・学校跡地の利活用についてのアンケートの回答期限が７月上旬となっている。 ・各地域でこんなものをつくってほしいと案が出るかと思うので、その結果をもとにテーマを考える。 ・子どもが集まるイベントを同時開催し、参加者を集める。
ハイジセンター長	・委員の皆さんからいただいた沢山の意見をもとに、次回までに企画を考え、提案させていただく。
事務局	<u>４ その他</u> ・デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への参画について（情報提供） ・カーボンニュートラル推進課からの情報提供として資料を配付
事務局	・第４回栃木西部地域会議について ・令和６年７月１６日（火）１９時００分から 皆川公民館にて開催予定。

	5 閉会 —— 以上、何も無いことを確認 —— —— 閉会 —— (会議終了時刻 20時20分)
--	--

別紙１ 出席者及び事務局

＜出席者（委員）＞

会 長	酒巻 幸夫	副会長	峰岸 晃一
副会長	中島 元一	委 員	厚木 秀夫
委 員	正田 秀雄	委 員	宇佐見 まり子
委 員	蓼沼 善雄	委 員	棚橋 利行
委 員	関口 みよ子	委 員	門沢 イミ子
委 員	石沢 恵一		

＜欠席者（委員）＞

委 員	吉田 美奈子	委 員	鈴木 加織
委 員	小池 祐也	委 員	毛塚 豊子

＜事務局＞

飯島 洋子	（吹上公民館長兼栃木西部地域まちづくりセンター所長）
長澤 紀恵	（皆川公民館館長）
佐藤 光三	（寺尾公民館館長）
石原 睦月	（吹上公民館主査）

＜その他の出席者＞

安彦 利英	（市街地整備課長）
荻原 知巳	（市街地整備課 課長補佐）
須藤 亮介	（市街地整備課 主査）
大波 龍郷	（NPO法人ハイジ センター長）

別紙２ 会議事項及び配付資料一覧

〈会議事項〉

1 開会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について（市街地整備課）

(2) 令和6年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について 資料1

4 その他

・デコ活への参画について（情報提供） 資料2

・第4回栃木西部地域会議について

5 閉会

〈配布資料一覧〉

・都市建設部市街地整備課 付議資料

・令和6年度 栃木西部熟くり塾のテーマ検討資料 資料1

・デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への参画について 資料2